

広報 かわぐち 平成10年 No. 295 4月



思い出を胸に

3月12日行われた川回中学校卒業式。式典の後、93名の卒業生は、後輩から贈られた花束や色紙を手にしながら先生や後援、保護者に見送られ、3年間の思い出がいっぱい詰まった学舎を後にしました。写真は、あいにくの雨で校舎内で行われた見送りの1シーン。卒業生の涙とさわやかな笑顔がとても印象的でした。

おもな内容

- 平成10年度施政方針……………2～5
- 平成10年度予算のあらまし…6～9
- 町内循環路線バス運行……………10
- 公共下水道はじまる……………11
- 人事異動・役場組織機構……………12～13
- 生涯学習……………14
- お知らせ……………18～19

めつきり春めいてきました。しかもその変化はある日突然あつたような気がします。そんなふうには感じられるほど、大地がゆるんできました。この何とも言えない「こち良さはだまりません」。

先日小学校の卒業式に招かれました。式が始まるころには、いろんな趣向がこらされていて、先生方の努力の様子があががわりました。この日のために着飾ったお田さんや女の先生の格姿も目に止まりました。

時を高く上げて校長先生から卒業証書を受けとる六年生の、緊張気味の態度もほほえましく大変りっぱな式典でした。

なかでも、全校生徒による在校生と卒業生である六年生が向かい合つて行う「お別れの言葉」は、久しぶりに心洗う思いでした。全員で合唱を混じえな

コラム 町長室から ③

卒業式に思う

川口町長 星野和久

から、お互いの代表が感謝と励ましの言葉を精一杯の力を出して交わしていき、子供たちの声も、かなしいまでに美しく館内に響き合いました。

一年生と六年生が向かいあつてのを見てみると、身長の違いは歴然としていて、自ら成長の跡がうかがわれます。

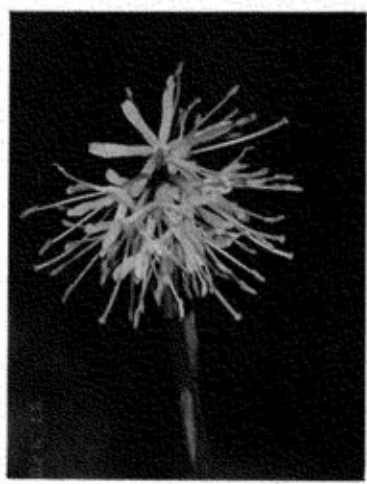
大きな六年生を前にして、小さな一年生たちのあどけなさやひととき自立し、子供といつもは本当にかわいいものだといふ気持ち自然と湧いてきます。ましてや肉親であればなおのこと、かわいくてしかたない子供たちですから。

どうか、人間としておおらかに大きく成長していつてほしいと願つております。

「卒業本当におめでとようございます。」

川口の山野草 ⑫

シヨウジョウバカマ (ユリ科)



新潟県ではこの花をテマリバナ、ヨメのカンザシ、魚沼地方では「ノリツケバナ」などと呼ぶそう、春一番に咲く花の一つで、日本全土に見られますが、日本海側の豪雪地の花は大きく、色もピンク、紅紫、

ダイヤイ、白に近いピンクと多色で、やや湿った処を好み、雪が消えると、ロゼット状に伸ばした葉の中心部から花茎を十センチほど伸ばして十個一輪の花をつけますが、その一つ一つはユリの花と同じで、六枚の花被と長く突出した六本の雄しべと一本の雌しべからなり、実はなく、花が終ると花茎を更に伸ばし、五十センチほどの花茎の先に種子をつけます。これは種子を風にのせて遠くに運ばせるためと言われています。

関東以西の太平洋側、殊に四国の低地に多く見られる「シロバナシヨウジョウバカマ」はまったくの異種花です。

(写真・文 木沢 鈴木良治さん)

人口の動き 10.3.20現在

※ ()内は前回からの増減

男	2,996人	(+3)
女	3,164人	(±0)
人口計	6,160人	(+3)
世帯数	1,566戸	(+5)

あとがき

この度の機構改革で広報担当が最後になりました。広報を担当して丸5年。毎回来月こそは…と思いつながら、結局最後まで満足していただく編集ができなかつたように思います▼「文明は暮らしの便利性をいい、文化とは、国、地域、人ごにそれぞれ違うもの、即ち個性だ」という話を聞いたことがあります。取材を通じてふだん着のままの多くの人と出会えたことは、その分いろいろな「文化」と接することができたものといえますし、何よりも大切な宝物を得ることができたものと思っております▼5年間のご愛読とご協力に感謝し、今後も広報に忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。(ほ)

町民とともに歩む

21世紀のまちづくり

平成10年度 施政方針（要旨）

3月5日から26日まで平成10年川口町議会3月定例会が開催されました。初日に町長の施政方針が行われましたので、その要旨を紹介いたします。

平成10年第2回川口町議会3月定例会の開会に当たり、町政運営に関する所信の一端と、平成10年度予算の編成方針とその大綱についてご説明申し上げ、議会議員並びに町民の皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◇ 21世紀を目前に控え、少子、高齢化社会の急速な進展をはじめ、急激な経済環境の変化、高度情報化や国際化の進展など当町をとりまく社会経済情勢は大きく変化しております。

また、地方の役割がますます重要視されているなかで、当町としてもその受け皿を整備すべく、限られた財源の中で多様化・高度化した住民ニーズに即応した行財政運営の確立を目指し、21世紀に向けた課題に的確に対応し、地域の

特性を生かした町づくりを推進していく決意であります。

町づくりは、自ら考えて計画を立て、町民と行政が一体となって実施していくものです。そのためには、町民の声をよく聞き、話し合うことのできる仕組みと環境づくりが必要であります。

それは、「町民とともに歩む21世紀のまちづくり」を基本として「町民総参加による生活と文化を大切にすまちづくり」を目指すことであり、「町民の声が届く明るく住みよい公正なまちづくり」を進めることでもあります。

それには誰もが発言でき、話し合うことにより誰もが納得でき、誰もが町政に参画できるまちづくりをしなければなりません。女性や若者からお年寄りに至るまで、多くの町民の意見が反映された開かれた公正なまちづくりが必要で

あります。

「町民と同じ目線の高さで、明るくわかりやすい町づくりを行うこと」これが私の政治と行政に対する基本姿勢であります。

また、開かれた町政実現に向け行政組織の機構改革と庁舎内の間仕切りを取りはずし、オープン化にする改造を行い、町民誰もが気軽に来訪できる、開かれた役場にしていきたいと思っております。

●農業の振興について

町の基幹産業は農業であり、農業の振興を図ることが町の発展につながるものと考えております。我が国の農業は、ウルグアイ・ラウンド対策として、農業生産基盤の整備や農村生活環境整備を推進しながら担い手の確保・育成に取り組んでおりますが、耕作条件の悪い中山間地域においては、依



然として担い手の減少や高齢化傾向への歯止めがかかっていない現状にあります。

また、生産者の「作る自由、売る自由」が認められた新食糧法の下では、販売の多様化は認められたものの、370万トンにも及ぶ在庫米により米価が低迷し、農家所得に大きな影響を与えていることから、平成10年度から2か年で在庫米を200万トンに圧縮するために大幅な生産調整を余儀なくされております。

平成10年度の転作率は、水田面積の22・3パーセントで、配分は103・9ヘクタールと、前年比36・3ヘクタールの増加となりましたが、全国的な不公平感の緩和と稲作農家の所得の確保を図るため、全国とも補償制度と所得補償制度へのセット加入を条件に農家の増えが求められており、米単作地帯である当地域においては、その負担に耐えられず、それぞれの地域で行政の援助が話題にのぼっております。

当町としても、これまで独自に実施してまいりました地域とも補償を継続するとともに、大幅な町費助成をすることといたしました。また、農業の担い手の確保や生活環境整備、経営の省力化、効率

化のため、和南津地区の「農村総合整備事業」、牛ヶ島地区の「担い手育成基盤整備事業」、西川口原田地区の「かんがい排水事業」、相川地区の「農道整備事業」などを実施するほか、青年農業者の育成を図る「農地利用集積加速総合対策事業」により、農家経営の安定を図る考えであります。

「農免農道牛ヶ島橋整備事業」につきましては、実施設計及び一部用地交渉が行われておりますが、新年度においても、事業実現に向け町を上げて強力な運動を進める考えであります。

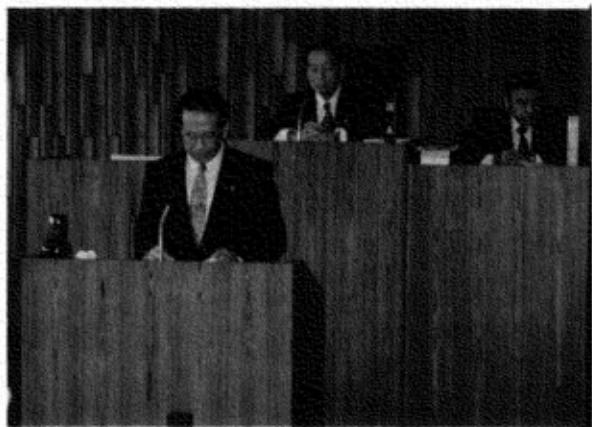
●土木事業について

当町の最重要プロジェクトに「川口橋架換事業」「国道17号4車線化」への取り組みがあります。これらについては、今後とも国及び県関係機関に積極的に働きかけを行く所存であります。

川口橋架換事業につきましては、移転に伴う「宅地用地造成事業」を行い、川岸地区において平成10年度に小江戸川脇の約5,000平方メートルの区画が完成する見込みであります。

更に、集落部においても造成用地残の2,820平方メートルを県の買収に合わせて取得するほか、

▲本会議で平成10年度の施政方針を述べる星野町長



前里川の一部付け替え工事を実施し、分譲可能地について随時分譲する予定で、計画道路と現県道との間を「福祉教育施設用地」として整備して行く考えであります。東川口地区においては、よしとみ団地前1,100平方メートルの区画工事と、川口1地内の道路整備を図り移転先を確保する考えであります。

このほか川岸地区では、造成工事に合わせて国庫補助事業による「街並みまちづくり総合支援事業」により、団地内道路の整備を行う町道関係では、改良、舗装11路

●商工業の振興及び誘客について

都市計画事業につきましては、県都市計画審議会による都市計画区域内の用途地域指定及び都市施設指定を受けるため、町都市計画審議会や地元及び県との協議を進め、必要な資料の策定業務を行うものであります。

店舗の大型化や消費者ニーズの多様化、消費税率引上げ以降の個人消費の減退及び購買力の町外流出が避けられない現状にあって、商工業の振興を図ることは容易なことではありませんが、町としても、「地方産業育成資金」の貸し付けや「商工組合中央金庫貸付金」

「労働金庫預託金」「町商工協同組合貸付金」などの有効利用を引き続き進めるほか町商工会への助成を行うこととしております。また、商工会及び農協との懇談会を行い、商工業の発展と町の活



近郷にない良質な成分を含有して
おりまして、連日大勢の方からご
利用をいただいております。
更に利用の拡大を図るため、町
中心部を拠点として「ぬくもり荘」
と「温泉」を経由して町内を巡回
する路線バスを運行する計画であ
りまして、新年度の早い機会に運
行すべく関係機関と調整している
ところであります。

●福祉の充実について

近年の社会福祉をとりまく環境
は、人口の急速な高齢化・少子化
の進行、世帯構造の変化、要介護
老人の増加など大きく変化して
おります。

こうしたなか、子供もお年寄り
も障害のある方も、住民誰もが住
み慣れた地域社会のなかで、とも
に明るく生きがいを持って暮らす
という観点から、公的な施策の充
実とともに、住民の方々の参加と
協力によって、地域福祉活動の振
興を図っていかねければならない
と考えております。

本町の高齢化の状況は、老人人
口が1,413人で高齢化率が23
パーセントに達し、同時に寝たきり
老人等の要介護老人も増加してい
る現状にあります。
これら援助を必要とする高齢者

の在宅での生活を手助けしていく
ために、ニーズを的確に把握し、
必要なサービスが適切に提供され
るような仕組みにすることが急務
であります。

このため、高齢化社会に向け健
康で安心して暮らせるまちをつく
るには、「保健」「医療」「福祉」が一
体となり、互いに密接な連携をと
りながら総合的な運営ができる
「複合施設」を整備することが必
要であります。新年度は、その複
合施設整備に向け、調査検討に取
り組む考えであります。

また、地域全体の他の要介護世
帯にも必要な在宅福祉サービス
企画・実施すると同時に、福祉全
般に対し支援する組織の強化を図
る必要があります。平成10年度におい
て、社会福祉協議会に専任の事務
局長と福祉専門職を配置するなど、
社会福祉協議会の充実強化を支援
し、合わせて高齢者の在宅での生
活の支援を積極的に進めてまいり
たいと考えております。

それには在宅介護の拠点であり
ます「ぬくもり荘」の管理運営を
充実強化された社会福祉協議会に
委託し、より一層きめ細かなサー
ビスを提供し、在宅福祉の充実を
図りたいと考えております。
また、町民が一番安心して暮ら

せるもののひとつに、医療体制の
確立があります。

昨年、長年にわたって町民の健
康管理にご尽力されました栗原先
生が診療をやめられて以来、町民
の医療に対する不安感が日増しに
高まっておりまして、一日も早い
医師確保に積極的に取り組まなけ
ればならないと考えております。

このほか、福祉タクシーの利用
者の拡充を図るほか、父子手当の
支給枠の拡大、特定疾患・精神障
害者の交通費助成の対象範囲の拡
大など、従来から行っております
町単独の各種福祉制度を継続し、
充実させながら「福祉の町」づく
りに積極的に取り組む所存であり
ます。

更に、健康で働く意欲のある高
齢者の健康の増進と生きがいづく
りのための就業機会の開発及び提
供を行う「シルバー人材センター」
の設立についても積極的に取り組
む考えであります。

また、平成12年度より実施さ
れます「介護保険制度」につつま
しては、新年度から要介護者の実
態把握、介護保険事業計画の作成、
要介護認定及び介護サービス計画
の作成を行い、事業実施に向けて
万全を期す考えであります。

●健康の増進について

豊かで活力ある高齢化社会とす
るには、乳幼児期から老年期に至
るまで、誰もが長い人生を健康で
過ごせるようにすることが基本で
あります。

このため、いつも「自分の健康
は自分で守る」という自覚を基本
として、普段から健康づくりに関
心を持つことが大切であります。

町民の健康を守るため、各種検
診、健康相談、栄養指導等、健康
教育の充実・強化に努めてまいり
ます。

●環境衛生について

今や、環境問題は地球規模の問
題として、大きくクローズアップ
されております。

大量生産、大量消費の使い捨て
のライフスタイルが、環境汚染や
廃棄物の増大につながり日常の住
民生活を主要な原因とする環境問
題が生じてきております。

このため、川口町の環境を保護
しつつ、将来の世代に継承してい
くため、町民及び事業者の参加と
行政の連携による「環境審議会」
を設置し、環境対策の推進方策を
ご建議いただき、環境保全活動を
積極的に推進していく考えであり



▲クリーンスポット大原

ます。

また、日常生活と最も密接なつ
ながりのあるごみ処理につつまし
ては、小千谷地域広域事務組合が
小千谷市木津地内に建設を進めて
おりました「不燃物最終処分場」
及び「廃棄物再生利用施設(リサ
イクルプラザ)」が完成し、本年4
月から稼動することから、今後は
ごみの「分別収集」を更に推進し、
ごみ資源の有効利用とごみの減量
に努めることとしておりますので、
町民各位のご協力をお願いするも
のであります。

●教育の推進について

次代を担う児童・生徒が、健や
かに心豊かな教育が受けられるた
めには、学校教育の環境整備を行
うことが行政にかけられた大きな
使命であります。

新年度も全校において「いきい
きスクールステップアップ運動推
進事業」の実施をするとともに、
小学校にも「コンピュータ」を整
備し「インターネット」による授
業を展開するなど、情報化社会に
対応でき得る教育設備の充実を図
ることとしております。

また、スクールバス一台を更新
し、児童・生徒の通学の安全を確
保する考えであります。

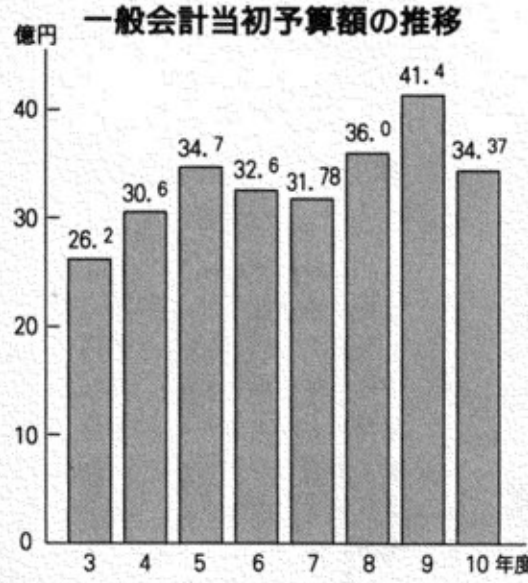
社会教育につきましては、生涯
学習の推進を重点施策として、教
育委員会組織の中に「生涯学習課」
を新設し、町民一人ひとりがより充
実した人生を送れる体制づくりと
学習の機会を広げ、生涯学習推進
に大きく取り組んでいく考えであ
ります。

「町づくりは人づくり」からで
あります。生涯学習を通して長い
目で見た人材育成に努めていく所
存であります。

以上、施政に対する所信の一端

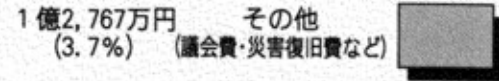
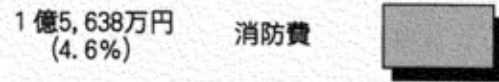
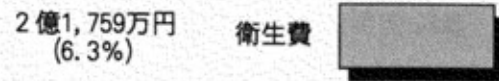
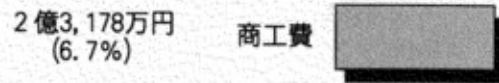
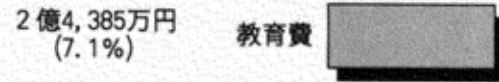
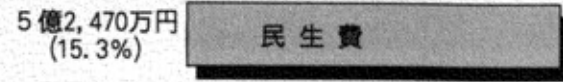


と事業の概要について申し上げます
ましたが、議員の皆様並びに町民の
皆様のご理解とご指導を賜ります
よう心からお願ひ申し上げ、所信
表明を終わります。
(特別会計分は ページに掲載
しました。)



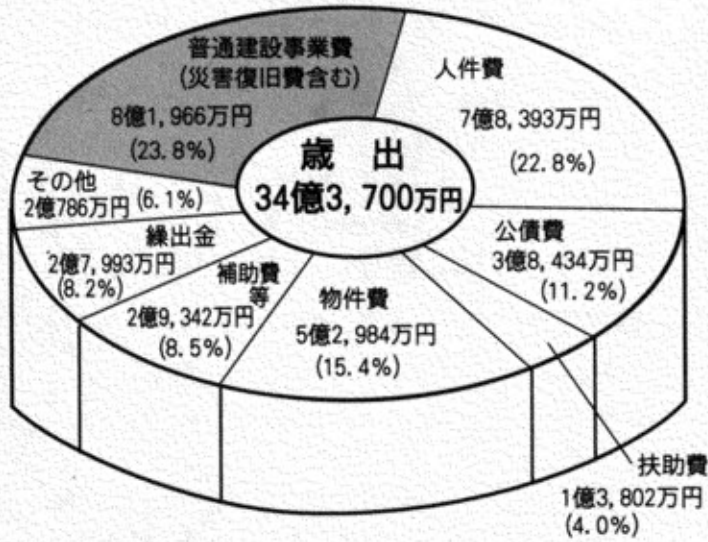
今年予算どのよ

一般会計



歳出

予算の使いみちは?



有利なもの借りよう工夫しているんだよ。

ゆたか ふーん。そうして町に入ってお金はどんなことに使うの？

父 今度は歳出(支出)だね。グラフを見ると、支出の中で一番多いのが土木費。全体の4分の1近くも占めている。川口橋架換に伴う住宅造成や克雪対策、町道改良などに使われるんだよ。次いで老人福祉などに使う民生費、米作りなどを応援する農林水産業費の順になっている。公債費は、町の借金を返済する費用。徐々に増加しているから注意しないとね。教育関係では、小学校にパソコンを入れてインターネット授業が行われる予定だよ。

ゆたか それじゃ僕も学校でパソコンを使えるの。うれしいなあ。

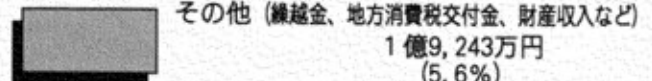
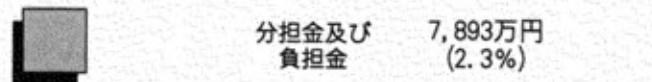
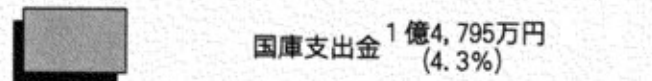
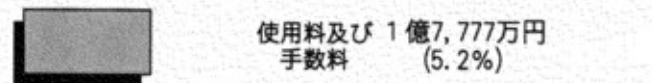
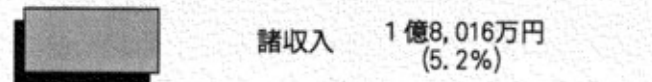
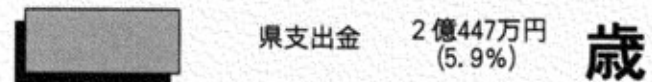
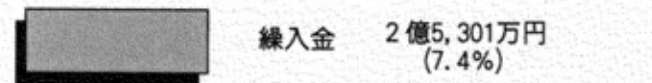
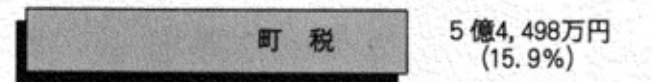
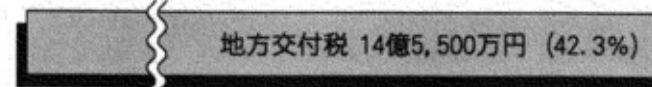
みどり 先月勉強したごみ処理もたくさんお金がかかるんですよ。

父 ごみの関係は衛生費だね。ごみの量が増えて年々お金もかかるようになって、今年は9600万円も見込んでいたそうだよ。それに総務費には、役場庁舎の一部改造する費用も盛り込まれているよ。このほか今年の主な仕事は、819ページに詳しく掲載してあるからよく見てほしいな。どう、予算のこと少しは分かったかな？

みどり ゆたか、うん。少しは分かったみたい。これからも少しずつ関心をもっていきたいね。

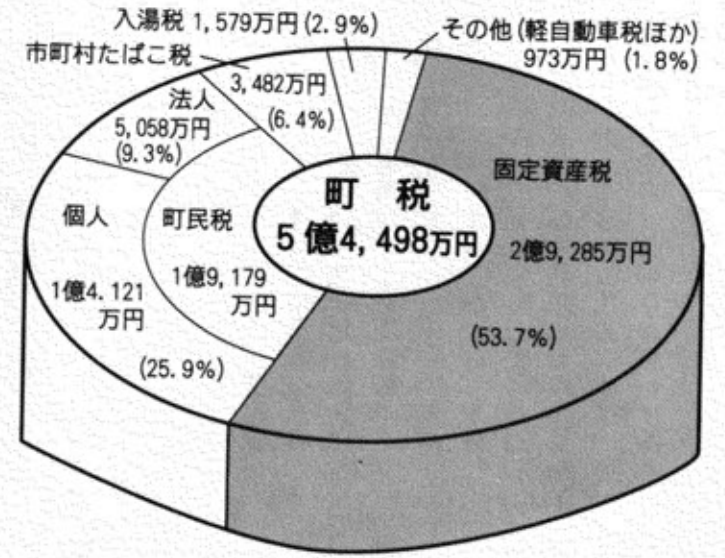
うに使われるのかな?

34億3,700万円



歳入

町税の内訳は?



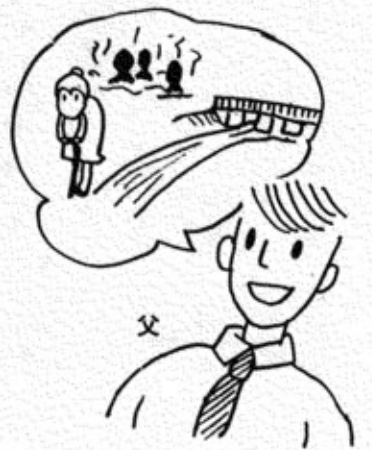
父 今月は町の子算のことを少し勉強してみようか。

みどり うん、お父さん、ところで子算ってなに？

父 町の家計簿とっていいかな。町では、住民が暮らしやすくなるよう道路や建物を作ったり、お年寄りを世話したりいろんな仕事をしているんだ。かといって無計画にお金を使えないから、子算を作って計画的に仕事をするんだよ。

ゆたか ふーん。町も節約しながらやっているんだね。お母さんもおこづかいを大切に使わなかったか。

みどり 今年の町の子算っていったいどのくらいなの？



父 一般会計で34億3700万円だよ。初めに歳入(収入)からしよう。仕事をするにはまずお金がないとね。上のグラフを見てもらう。町の収入にもいろいろなものがある。私たちが納める税金のほかに国、県の補助金や国から交付される地方交付税などがあるよ。町税には、固定資産税や町民税のほかキャンパス川口温泉の入湯税も含まれているし、入浴料は、使用料及び手数料に含まれているいい財源になっている。

みどり ねえ、一番金額が多い地方交付税って何？

父 所得税や法人税などの国の税金の一部を市町村の財政力に応じて交付するもので、川口町では4割以上も占めているから重要な財源といえるね。

みどり じゃあ町債は？

父 建物や道路を作るときは町もお金を借りて仕事をするんだ。要するに町の借金のこと。わが家と言えば住宅ローンのようなものさ。でも、将来交付税で補てんされる

特別会計

■国民健康保険…2億9,900万円 (前年比 5.1%減)

被保険者数の減少と医療費の増加により国保財政の運営は厳しく、これまで給付準備基金を取り崩して対応してきました。平成10年度は、医療費の伸びを5%と設定しましたが、基金の減少により、やむを得ず保険料の3%程度の引き上げをすることになりました。

健康づくり推進事業や一日人間ドックなどを推進し、病気の早期発見、早期治療により医療費の節減に努めていきます。

○一日人間ドック助成

■老人保健…7億700万円 (前年比3.3%増)

高齢化の進行と医療技術の向上等に伴い、医療費が年々増大しています。医療費の適正化と高齢者の健康増進を図るなど、適正な運営に努めていきます。

■下水道事業…7億3,800万円 (前年比2.2%増)

平成9年度は牛ヶ島、貝ノ沢地区で下水道が供用開始され、普及率は65.3% (3月末現在) となりました。新年度は中山、野田地区で管渠布設工事を行うほか、計画区域外の合併処理浄化槽の整備を進めます。

○公共下水道事業…5億4,350万円

・管渠布設工事 (中山、野田) L=3,910m

・調査設計委託 (相川、和南津、西倉) 1式

■簡易水道事業…3億3,000万円 (前年比60.9%増)

新年度は、西倉簡易水道において、水需要の増加に伴う「配水池増設事業」を行うほか、川岸及び東川口地区の住宅用地造成工事や下水道工事に伴う水道管の布設工事、布設替えを行います。

○西倉簡易水道…1億1,842万円

配水池新設ほか(432㎡) 1式 1億1,842万円

■ガス事業 収益的収支…1億6,000万円 資本的収支…1億600万円

(支出予算額 17.1%増)

新年度は、基ガス供給遠隔監視制御装置 (テレメーター) の更新、川岸及び東川口地区の住宅用地造成工事や下水道工事に伴うガス管の布設工事、布設替えを行います。

また、中山地区の老朽管の入れ替え等を行い、安定供給と保安対策に努めます。

○基ガス供給遠隔監視制御装置設置 1式

21世紀に向けて

■商工費…2億3,178万円 (前年比 12.1%増)

宿泊施設、温泉施設などの管理運営費のほか、町商工業不況対策緊急経営支援資金貸付金、商工会補助金、川口まつり協賛会補助金を計上しました。

- 地方産業育成資金、町商工協同組合、町商工業不況対策緊急経営支援資金貸付金など…3,472万円
- 町商工会補助金…200万円
- 川口まつり協賛会補助金…460万円

■衛生費…2億1,759万円 (前年比 6.3%増)

町民の健康づくりを進めるため、各種検診、健康相談、栄養指導等健康教育の充実強化に努めます。

4月からクリーンスポット大原が稼働するため、ごみの分別収集を推進し、リサイクルとごみの減量化に努めるとともに、環境審議会を設置し環境対策を進めます。

公共下水道の区域拡大に合わせて計画区域外の合併処理浄化槽の整備を進めます。

- 小千谷地域広域事務組合負担金 (衛生分) ……7,798万円
- ごみ収集業務委託…1,842万円
- 合併浄化槽整備費補助…430万円
- 成人病予防対策 (基本健診、胃ガン、子宮ガン、肺ガン、大腸ガン等) ……1,710万円

■消防費…1億5,638万円 (前年比 1.9%増)

防火水槽の整備や第6分団に小型動力ポンプ付積載車を整備し非常時消防の充実を図ります。

- 小千谷地域広域事務組合負担金 (消防分) ……1億2,029万円
- 防火水槽の設置 (40㎡×1基)
- 小型動力ポンプ付積載車購入…495万円



▲小型動力ポンプ付積載車

こんな事業に取り組みます



■農林水産業費…3億8,926万円 (前年比 3.2%減)

生産調整を推進するために、町とも補償事業に大幅な町費助成を行います。

農業生産基盤では、和南津地区農村総合整備、西川口地区かんがい排水事業や、牛ヶ島地区で大規模な県営ほ場整備事業に着手します。

県営農免農道牛ヶ島橋整備事業では、実施設計、用地買収が行われ、着工に向けて前進します。

- 町とも補償負担金…490万円
- 和南津地区農村総合整備ほ場 4.4ha、農道 380m
- 西川口地区かんがい排水整備 水路 107m
- 石田地区農道整備 250m
- 県営ほ場整備負担金(牛ヶ島地内)…1,026万円
- 県営農免農道負担金(牛ヶ島橋)…1,353万円
- 林道上川線開設 200m、舗装 150m
- 農地利用集積加速総合対策事業補助金…984万円

■総務費…3億5,804万円 (前年比 41.0%減)

役場事務室のオープン化を図るため役場庁舎を一部改造します。

4月から町内各地区と温泉施設、ぬくもり荘を巡回する「町内循環バス」の運行を始めます。

- 庁舎改造…3,300万円
- 辺地バス運行補助金…814万円
- 交通安全施設整備…220万円

■教育費…2億4,385万円 (前年比 27.8%減)

全校で「いきいきスクールステップアップ運動推進事業」に取り組みます。小学校にもコンピュータを設置、インターネットによる授業を進めます。

生涯学習を推進するため教育委員会組織の中に「生涯学習課」を設置、その体制づくりを進めます。

- いきいきスクールステップアップ事業 ……407万円
- スクールバス購入…1,206万円
- パソコン導入…1,326万円

■土木費…8億339万円

(前年比 10.9%減)

川口橋架換に伴う住宅用地造成事業では、川岸地区で約5,000㎡、東川口地区で1,100㎡の区画整備に着手、分譲可能地の分譲を進めます。また、街並みまちづくり総合支援事業により、造成工事に合わせて川岸地内の団地内道路、公園などの整備を行います。

克雪関係では、ロータリー除雪車の更新や消雪パイプの整備や克雪住宅の普及促進を図ります。

都市計画関係では、用途地域指定、都市施設指定を受けるため地元や県などと協議を進めます。

- 住宅用地造成(川岸・東川口) ……2億4,471万円
- 克雪関係 ・消雪パイプほか…1,910万円
- ・ロータリー除雪車購入…4,563万円
- ・克雪住宅建設費補助金…1,188万円
- 町道改良・舗装(11路線)…1億2,390万円

■民生費…5億2,470万円 (前年比 36.5%減)

高齢者の健康と生きがいづくりのための就業機会の開発、提供を行うシルバー人材センターの設立に取り組みます。

福祉タクシーの利用者の拡充や父子手当の支給枠の拡大、特定疾患、精神障害者の交通費助成の対象者の拡大をし、単独の福祉制度の充実を図ります。

地域福祉活動の振興を図るため、社会福祉協議会の組織の強化を図り、ぬくもり荘の運営を同協議会に委託し、在宅福祉の充実を図ります。

平成12年度から始まる介護保険制度に対応するため、介護サービス計画の作成などを進めます。

- 町社会福祉協議会補助金…511万円
- 特別養護老人ホーム建設負担金…1,566万円
- 在宅介護支援センター運営…1,038万円
- ぬくもり荘運営…3,766万円
- ディサービスセンター機能強化(リフトバス購入) ……425万円
- 老人家庭奉仕員派遣事業…1,110万円
- 老人短期保護事業…511万円
- 町単独福祉対策(父子手当ほか)…240万円
- 身体障害者保護措置費…724万円
- 身体障害者在宅福祉対策費…72万円
- 老人保護措置費…7,614万円
- 高齢者・障害者住宅整備資金貸付及び補助 ……1,450万円

公共下水道 中山・野田で工事がはじまります

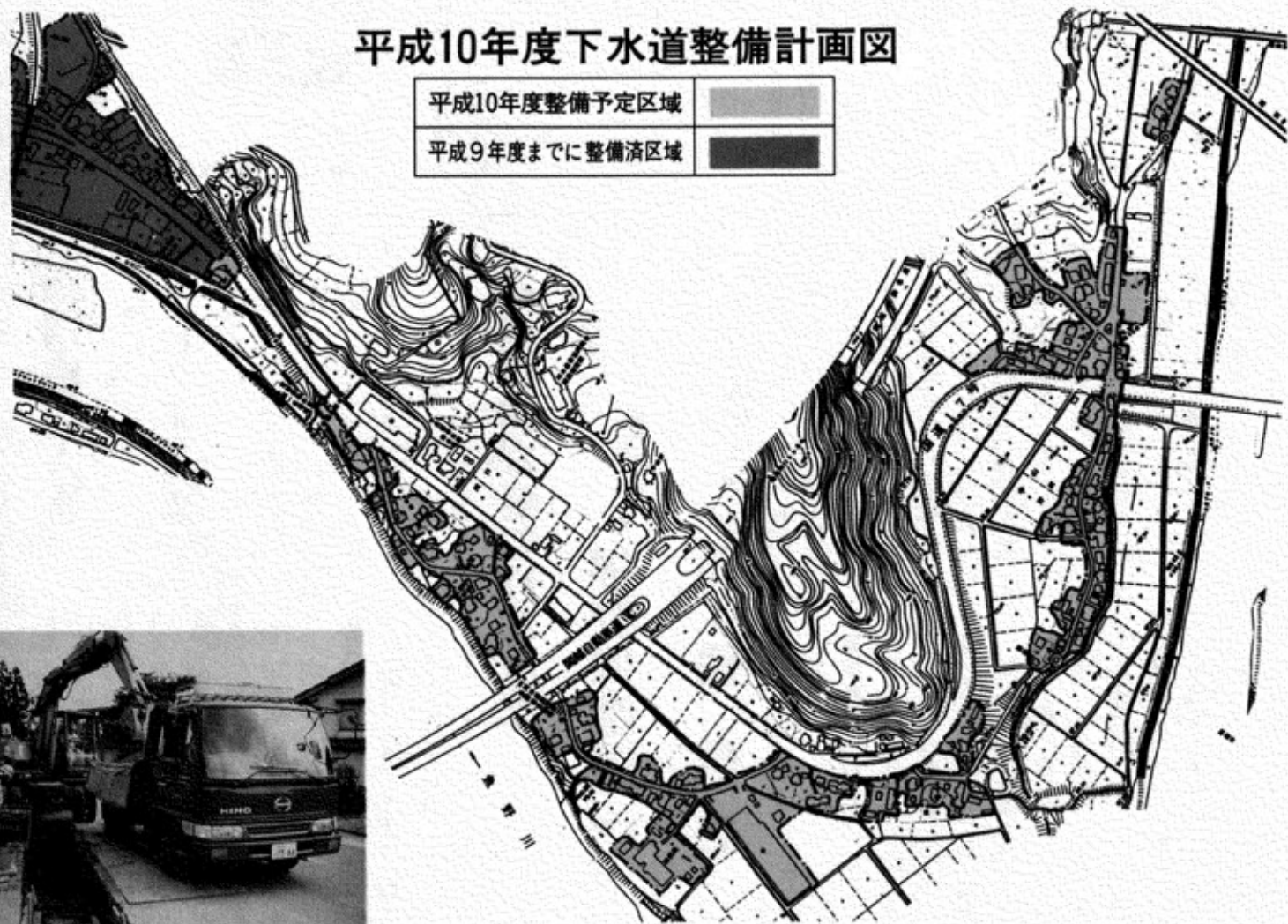
水洗化等による快適な生活環境づくりと河川の水質汚濁防止を図るため整備が進められている町の公共下水道は、平成8年3月末に一部供用を開始して以来、平成9年度末の下水道普及率（見込み）は65.3%（田麦山地区農業集落排水処理区域を含む）となり、順調に整備が進んでいます。平成10年度は、中山、野田地区を中心に管渠布設工事が行われ、処理区域の拡大が進められます。

下水道工事に ご協力ください

工事は下図の区域でもなく始まります。工事期間中は通行止めや片側交互通行などによりご迷惑をおかけすることになります。ご理解をお願いします。工事現場を通行するときは十分注意してください。

平成10年度下水道整備計画図

平成10年度整備予定区域	
平成9年度までに整備済区域	



水洗トイレへの 改造は3年以内に

下水道法では、処理区域の公示の日から3年以内にくみ取り式から水洗トイレに改造することが義務づけられています。処理区域内のご家庭は速やかに排水設備工事をお願いします。

排水設備指定工事店 指定要件が変わりました

4月1日から町が指定する排水設備指定工事店の指定要件が変わり、県内に事業所を有し、一定の指定要件（責任技術者が1名以上専属していること）を備えた事業者は、町の指定を受けて、町内で下水道の排水設備工事ができることになりました。

詳しくは、下水道課までお問い合わせください。
☎89-3111 (内線181)

バス時刻表

(越後交通観光バス㈱ ☎37-2252)

荒谷	川口駅前	ぬくもり荘	川口温泉	川口温泉	ぬくもり荘	川口駅前	荒谷
9:15	9:28	9:31	9:38	15:35	15:42	15:45	15:58

小千谷車庫前	川口1丁目	川口温泉	田麦山	小高	小高	田麦山	川口温泉	川口駅前	小千谷車庫前
					9:35	内ヶ巻経由 9:42	9:59		
15:50	16:01	16:06	内ヶ巻経由 16:22	16:32					

峠	川口温泉	ぬくもり荘	川口駅前	川口駅前	ぬくもり荘	川口温泉	峠
9:58	10:10	10:17	10:20	14:50	14:55	15:02	15:14
15:18	15:30						

※全路線とも土曜、日曜、祝日及び8月15、16日、12月31日～1月3日は運休します。
※峠～木沢間は11月1日～3月31日まで運休します。

主要区間運賃

- 小千谷・川口・田麦山線
 - 小高—川口温泉 320円
 - 前原—川口温泉 200円
 - 岩出原—川口温泉 180円
- 峠・川口温泉・ぬくもり荘
 - 峠—川口温泉 200円
 - 峠—川口駅前・ぬくもり荘 240円
 - 木沢—川口温泉 180円
 - 木沢—川口駅前・ぬくもり荘 230円
- 荒谷・川口温泉線
 - 荒谷—川口温泉 200円
 - 相川—川口温泉 220円
 - 貝ノ沢—川口温泉 180円
 - 川口駅前—川口温泉 160円
 - 中山下口—川口温泉 150円

4月1日から 町内循環路線バス 運行はじまる

4月1日から町内各地区とキャンパス川口温泉、ぬくもり荘を結ぶ路線バス（循環バス）の運行が始まりました。泉質が良く利用者に好評のキャンパス川口温泉も、高齢者にとっては、交通の足確保が悩みの種でした。そのため、町が民間バス会社（越後交通観光バス㈱）と協議を進め、3路線で1日7便

運行することになりました。これにより交通の不便さも一挙に解消され、温泉の利用者拡大と合わせて、ぬくもり荘や地元医療機関、商店などを利用しやすくなりました。なお、路線バスの運行により、これまで週4回運行していた患者輸送車は廃止となりました。



町単独福祉制度を改正 4月から支給対象を拡大しました

- 町単独で実施している福祉施策の「父子手当支給制度」
- 「特定疾患・精神障害者交通費助成制度」及び「福祉タクシー利用券助成制度」を改正、対象者又は助成対象を拡大し、4月から実施することになりました。
- 父子手当支給制度
 - 児童を養育している父子家庭を対象に月5千円を支給
 - ▽改正点
 - 支給対象年齢を「中学校卒業時まで」を「高校卒業時まで」に引き上げました。
 - 特定疾患及び精神障害者交通費助成制度
 - 医療機関への通院時交通費支払額の3分の1を助成
 - ▽改正点
 - これまで助成対象外だった社会福祉施設への通所も対象となりました。
 - 福祉タクシー利用券助成制度
 - 身体障害者1、2級、療育手帳判定Aの人に基本料金利用券を交付（年12枚）
 - ▽改正点
 - 身体障害者3級、療育手帳Bの人まで対象者を拡大しました。
 - ※お問い合わせは、福祉保健課まで。

役場庁舎改造工事にご協力ください

役場事務室をオープン化するための庁舎改造工事が4月10日頃から始まります。工事は、平日の夜間（午後10時まで）と土、日曜日、祝日を主体に行いますが、工事期間中は来庁者の皆さんにご迷惑をおかけする場合があります。特に、庁舎近くの家庭には、騒音等により大変なご迷惑をおかけすることになります。あわせて「ご協力ください」。

※連絡先……総務課

教職員の人事異動



川口中学校
阿部利己校長



木沢小学校
菊地敏明校長

4月1日付けで次のとおり町内小・中学校教職員の人事異動がありました。(敬称略)

■転任・退職された先生
お世話になりました
()は転任校

よろしく
お願いします

- 泉水小学校
教頭 村田洋子 (十日町・真田小)
教諭 桑原洋文 (新採用)
- 川口小学校
教頭 大山賢一 (上越・大手町小)
教諭 小林保浩 (新採用)
- 田麦山小学校
教諭 小林仁美 (東小千谷小)
養護 福原咲子 (長岡・高宮小)
- 木沢小学校
校長 菊地敏明 (中条・本条小)
- 川口中学校
校長 阿部利己 (教育事務教育課)
教諭 大矢康之 (新採用)
- 泉水小学校
教頭 荒木保次 (三条・旭小)
教諭 原和幸 (守門・上条小)
- 川口小学校
教頭 佐藤美智孝 (新津第三小校長)
教諭 平原悦子 (退職)
- 田麦山小学校
教諭 阿部由美子 (東小千谷小)
養護 島川啓子 (真人小)
- 木沢小学校
校長 平沢岩夫 (見附・新海小)
- 川口中学校
校長 高橋卓一 (退職)
教諭 橋本和久 (柳尾・秋葉中)
- 加藤浩之 (入広瀬中)
- 星野康子 (小出中)

特別職の人事

収入役に
古田島正作氏
教育長に
桜井文夫氏

町議会3月定例会で、丸山前収入役の任期満了に伴う収入役の選任が行われ、同議会

は収入役に古田島正作氏(川口5・前教育長)の選任と、これに伴い空席となった教育委員会委員に桜井文夫氏(川口2・元教育長)の任命に同意しました。
これを受けて町教育委員会では、桜井氏を教育長に選任しました。
古田島収入役、桜井教育長は4月1日付けで就任しました。

監査委員に
丸山 晃氏

また、同議会は、渡辺勇前監査委員の辞任に伴い空席となった監査委員に丸山晃氏(長坂・前収入役)を選任することに同意、丸山氏は、4月1日付けで同委員に就任しました。

役場機構が変わりました

健康づくり
福祉関係は
福祉保健課に

戸籍、
環境衛生は
町民課に

4月1日付けで一部行政組織の改革が行われ、地域福祉課と社会保健課の所管業務全般を見直し、新たに「福祉保健課」と「町民課」を設置したほか、次のとおり課の名称変更や所管事務の見直しなどが行われました。

- 企画商工課(旧企画課を名称変更)
- 町民課(旧社会保健課又は地域福祉課を見直し) 戸籍、住民基本台帳、国民
- 家族旅行村振興課
温泉施設の管理運営業務を企画課から所管替え。
- 福祉保健課(旧社会保健課又は地域福祉課を見直し) 福祉全般、保健業務、介護保険、在宅介護支援センター業務を担当。
- 教育委員会
青少年の健全育成に関する事務を旧社会保健課から所管替え。生涯学習を推進するため、新たに「生涯学習課」「学校教育課」を設置。

役場職員の人事異動

なお、4月1日付けで役場職員の人事異動が行われました。内容は役場事務機構図と合わせてご覧ください。

川口町役場の事務機構図 (☎89-3111)

平成10年4月1日現在
(※)は新採用職員

町議会議長 山崎良治	議会事務局	事務局長 大淵公男	津端優子	町議会、監査に関すること		
収入役 古田島正作	収入役室	星野慶子	岡村成輝	公金の出納に関すること		
川口町長 星野和久	助役 古田島友一郎	総務課	課長 内山敦夫 課長補佐 星野晃男	小宮山蓉子 関ミチ 関隆和 横山基文 藤本圭(※) 佐藤恵 岡村則子	一般庶務、人事、消防、防災、交通安全対策、選挙、庁舎・庁有自動車管理に関すること	
		財政課	課長 桜井誠一	丸山ゆみ 佐藤誠 高橋義法 浅間昌子 山吉泰久 広沢敏功(※)	町税の賦課調定、徴収、固定資産の賦課調定、徴収、地籍、諸証明に関すること 予算、決算、起債に関すること	
		企画商工課	課長 岡村謙	間野光晴 関喜代美 丸山高之 波瀧智則(※)	企画、広報・広聴、広域行政、町総合計画、過疎計画、商工振興、労働、観光に関すること	
		町民課	課長 小山和夫	真島悦子 阿部和雄 関礼子 金沢賢児 山崎寿 喜多村竹紀(※)	戸籍、住民登録、各種証明、国民年金、児童手当、国民健康保険、老人保健、県営住宅・町営住宅の管理運営に関すること	
		福祉保健課	課長 関達市	広井淳一 内山謙一 黒島幸代 陣内美江 鈴木聡 須田裕子 品川都子(※) 保坂淳子(※)		社会福祉、障害者福祉、老人福祉、介護支援センター、保育園、健康づくり、疾病予防、保健指導、栄養指導に関すること
				東川口保育園 園長 宮美恵子	丸山美江子 星野光枝 小西美代子 山田さち子 井口久美子 山田智子	
				西川口保育園 園長 平沢智子	星野和枝 阿部さつき 菅原芳子	
				上川保育園 園長 星野由美子	広井紀子 原圭以子	
		田麦山保育園 園長 藤巻洋子	田中京子 広井康子 佐藤智栄子			
		農林課	課長 丸山耕一 課長補佐 阿部和真	涌井文子 北村清隆 山田康浩 水落達也 綱政直 野沢明史(※)	農業振興、林業振興、畜産、農業委員会、山村振興、土地改良、農村総合整備に関すること	
建設課	課長 阿部義晴 課長補佐 山田功	桜井正広 川上敬子 綱博之 森山修	道路、橋梁及び河川の管理、道路除雪に関すること			
東振興課	課長 関久一	古田島光子 佐藤直利 渡辺諒一(※) 小西喜芳 宮俊夫 大淵正文	キャンパス川口の維持管理、温泉施設の管理運営に関すること			
企業課	課長 鈴木政幸	広井義市 森山春美 関義博 古田島重幸 大淵雅弘(※)	水道、ガス事業に関すること			
下水道課	課長 桜井兵治	阿部恒雄 桜井松江 丸山正則 桜井護(※)	公共下水道、農業集落排水に関すること			
教育委員会	学校教育課	課長 渡辺浩	根津喜久子 星野智 山田知子 笹崎昌子(川口小) 真島富士子(泉水小)	学校教育、学校施設、給食センターに関すること 青少年の健全育成に関すること		
	生涯学習課	課長 関武司	渡辺勝 鈴木徹 市村直(派遣社会教育主事)	生涯学習に関すること		
社会福祉協議会		事務局長 星野衛(出向)	山田佳多子(出向)			

※臨時職員は除きました。

※退職者 真島淳、大淵富一、星野正、川瀬ミツ、岡村由紀子、星野季、大矢恵美子、山下裕子、横山昌美

いま、どうして生涯学習なの？

～その1～



仕事のこと、健康のこと、子育てのことなど、私たちはいろいろな問題に直面します。そして、それを解決するために試行錯誤をかさね、友人から教えてもらったり、本を読んだり、テレビを見たりして、誰もが学んでいます。その意味では生涯にわたって学習することは、今さら新しい試みというわけではありません。

それなのに、なぜ、今、生涯学習なのでしょう。

この時代を生きるための生涯学習

現代は「変化の激しい社会」です。たとえば、職場でパソコン、ファックスなどを使いこなせないと日常業務でさえ満足に達成できないことがあります。国際化の流れの中では、普段の生活の中でも英会話が必要な場面が多くなってきています。

建築に携わっている人にとっては、絶えず新しい建築技術を学び、お客様のニーズに応えることができれば、企業の信用にかかわってきます。テレビのニュースを見ても、

円相場の変動や地球規模での環境破壊、学校での登校拒否やいじめのこと、また、ナイフ事件などさまざまな問題が起こっています。かつて学校で学んだ知識や技術だけでは対応できないことが多く、それらを解決していくに

生涯学習ボランティア実践活動から

～その1～

学校教育と生涯学習の融合により、私たちは広い視野から地域を知ることが出来ます。この実践は、明日の地域を担う人材の育成につながります。私たちの進める活動は、このような地域に根ざした学習活動の小さな一歩です。昨年度の実践例を紹介いたします。

化石採集会

西倉の川口層の貝化石の採集活動及び大和町の水無川の八海山石の採集活動を行いました。この事業は、本年度新たに夏季休業中の活動として行っただけです。化石の採集活動は、見

は、絶えず新しい知識・技術を学んでいかざるをえなくなってきました。生きがいとしての生涯学習

生きがいとしての生涯学習

でも、学校の勉強ではないので、宿題があるわけじゃありません。実際にさまざまなサークル活動をのぞいてみると、とても楽しそうに活動しています。人生八十年、人生を豊かに実りあるものにするために、自分の「生涯の学習パートナー」を探す人たちがどんどん増えてきています。学習することによって新しい自己を発見し、喜びを感じることが出来ます。また、学ぶこと

それ自体が生きがいとなってきます。このように、人々の学び合いやふれあいを深め個性や能力を伸ばしながら、「一人ひとりの人生を充実させる生き方への対応として、生涯学習が必要になってきているのです。このほか、「学歴社会の是正」などがあげられますが、次号(その2)でふれることにします。(教育委員会)

木沢小学校で3年ぶりの卒業式

3月25日、町内4小学校で卒業式が行われ、男女計83名の児童が卒業しました。木沢小学校(児童数7名)では平成7年以来3年ぶりの卒業式。卒業生は星野虎太郎さん、星野仁司さん、阿部郁子さん、小林祥江さんの4人。巣立ちの歌など3曲が挿入された「門出のことば」では、7人の児童が心を一つにして呼びかけ合い、感動が会場い

っぱいに広がっていました。4月には新しく1年生も入学し、在校生3人と一緒に木沢小学校の伝統を守ってくれます。



三国山自然観察会

この事業は、新規事業であり自然環境の理解をねらいとして行われました。生涯学習におけ

童にとつて極めて魅力ある活動です。川口町の自然を理解する場として生かされました。また、八海山石の採集では、児童にとつて初めての活動だけに真剣な取り組みができました。おみやげの八海山石が見つかる歓声が湧き起こるなど、充実した一日となりました。これらの活動は、地域の環境について啓発するよい機会となりました。

自治体消防50周年で記念表彰

自治体消防50周年で記念表彰

昭和23年3月7日、現行消防組織法が施行され、市町村が消防を担う今日の消防制度が発足して今年で50周年を迎えました。これを記念して3月7日、日本武道館で記念式典が行われました。県内でも22日新潟県民会館で記念式典が行われ、町消防団から次の方が表彰されました。(敬称略)

■日本消防協会定例表彰

▽動統章(30年以上)

団長 古田島俊雄(川口6)

▽精績章

本部分団長 関真佐道(牛ヶ島)

■新潟県知事表彰

▽幹部功績特別表彰

団長 古田島俊雄(川口6)

副団長 佐藤 正規(中山)

東芝照明ソリューション

末広荘に

カラーテレビを寄贈

老人憩いの家「末広荘」の新築を記念して「社会福祉活動に役立ててほしい」と、このほど東芝照明ソリューション株式会社越後川口工場から「ワイドカラーテレビ32型1台」が町に贈られました。

同社加藤工場長さんから星野町長に目録が贈られました。



ふるさとCM大賞で

優秀賞に

— 明創審第1専門部会 —

このほどBSN新潟放送主催「第6回ふるさとCM大賞」の最終審査が行われ、川口町のあしたを創造する審議会第1専門部会(部会長丸山智義)制作のふるさとCM「ちい(そ川口へ)」が優秀賞に選ばれました。

作品は、温泉やオートキャンプ場など町内の施設を紹介したもので時間は60秒。



のお話を聞く小学生。年齢差を超えて活動することの大切さを感じました。生涯学習だからこそできる実践です。登った山は、小さな山ですが、大きな山に登った充実感を得ることができました。(川口小学校教諭 廣葉大城)



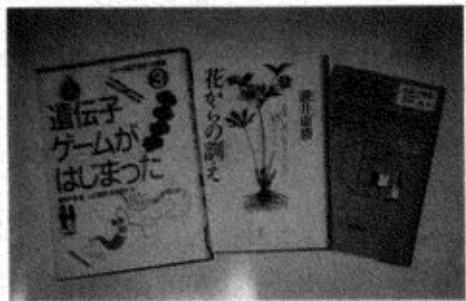
古田島団長

佐藤副団長

関 本部分団長

町図書館から

(休館日-毎週月曜日・祝日)



子どもを支えることば/崎尾英子著

危機のメッセージ!
家族が立ちすくむ現場から、子供に対する親の態度やことば、親と子がまっすぐに対面することばの論理とは?

花からの訓え/瀧井康勝著

心豊かに生きるための「花」からのメッセージ。人生に潤いをもたらす38のヒントを与えてくれます。

365日、自分を成長させる生き方

／辻 創著

我が子を一人前にするにはこれだけは不可欠、という実践的しつけ論と親たるものの心構えを説く痛快な教育論です。

その他の新着図書

遺伝子ゲームがはじまった/藤田千枝著

ヒトはいつから人間になったか

／リチャード・リッキー著

その他続々入館しています。ご利用ください。

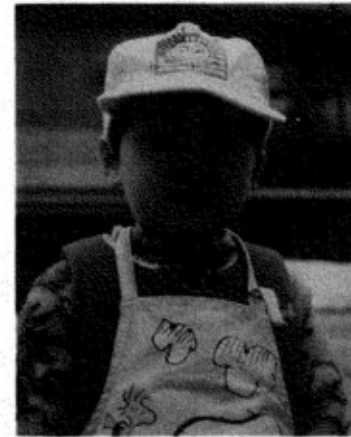


版画「がんばったホルン練習」

いぎんぎギギヤムニー

涌井俊裕 さん (田麦山小学校 5年)

去年から始まったアルプホルンの練習場面を思い出してかきました。
力いっぱい吹いている様子とホルンを持つ手がうまくできてよかったです。



目黒祥之 ちゃん

(川口1・3歳4ヵ月)

喜代司さん・広己さん 二男

(保育園に入園前のちびっ子を紹介し、掲載ご希望の方はご連絡ください。)

今月の味じまん④

車ふのたまごおとし



ふの料理法は煮物が一般的ですが、ちょっと工夫を凝らしてみました。
車ふの輪の中を利用してたまごを落としてみました。
結構ボリュームがあり、おなかもいっぱいになります。

●材料 (4人分)

車ふ…4コ	A	だし汁… $\frac{1}{3}$ カップ
卵…4コ		しょうゆ…大きじ1 $\frac{1}{3}$
トマト1コ		砂糖…小さじ2
		酒…大きじ1
		塩…少々

●作り方

- ①車ふは水で戻す。
- ②鍋にAの調味料を入れて味をととのえ、煮立てる。この中に水気を絞った車ふを丸のまま入れ煮含める。
- ③鍋の中に車ふを重ねないように1個ずつ並べ、次に卵を割って車ふの輪の中に入れる。ふたをして卵に火が通る程度に煮る。
- ④皿に盛りつけトマトを添える。



<ポイント>

- ◎車ふは切らないでそのまま使います。
- ◎上の写真では、飾りにトマトを使いましたが、ブロッコリー、インゲンなどの青みでも何でも合います。
- ◎たまごの火加減は、お好みに合わせてください。

提供：食生活改善推進委員協議会

佐藤クニ枝 (川口6) ☎89-2881
中林 京子 (川口7) ☎89-3823

楽しかった雪んごじゆく



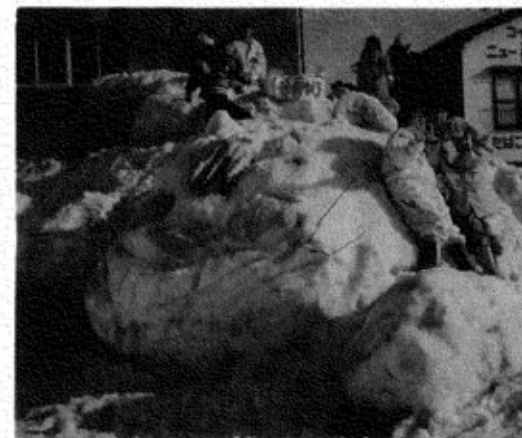
内藤有紀さん

(川口3・9歳)

わたしは、3月8日に東川口保育園のグラウンドで、春をよぶかまくら雪んごじゆくという行事にさんかしました。
はじめ午前9時から大人の人たちが雪ぞうやかまくらを作りました。雪ぞうは、となりのトトロのねこバスでした。わたしのお父さんも作っていました。かまくらと雪ぞうが完成するのにやく2時間かかったそうです。「たいへんだなあ」と思いました。

午後3時からはいよいよわたしたち、子どもも作ります。「シャベルで雪をすくってパケツの中に入れて持ってきてね」といわれました。どんどん入れて持っていくと、パケツをさかさまにして雪を出しました。「こんどはまん中に穴を開けて中にろうそくを入れてね」といわれ、すぐとりかかりました。子どもの仕事が終わりました。さきょうを終えた後、ねこバスの上で友だちと遊びました。午後5時ごろです。「おーい。とんじるとおもちゃができたよ」といわれました。かまくらの中で食べました。体があたたまっておいしかったです。くらくらしたところ、ろうそくに火がともりました。雪の中にたくさん火がともってきれいでした。えいごも見ました。雪の中のえいごはおしゃれなかんじがしました。

ファイナルです。花火をやりました。ねずみ花火、手で持つ花火をしました。でも一番いんしょうにのこっているのがうち上げ花火です。いろんな色が空にちってきれいでした。大人の方たちどうもありがとうございました。またやりたいです。



俳句

大内迪子選

公民館句会 (2月15日)

雪雫いつしか止みて夜の帳
激しくした雪雫の音が、いつの間にか軒端より消えている。もうすっかり外は暮れてしまった。雪雫は氷柱に変わって、しんしんと凍る夜になった。十七字に、その移り変わりがよく表現されている。

正月を病んで天井眺めをり
たまたま病を得て、お正月が来たというのに床上にある作者。安静を保つには天井を眺めて寝る他はない。今更に天井の木目などが面白くも、又淋しい。

春待ちて福寿草など描いて見る
雪国の冬は本当に長いことおもう。ことさら春待つ気持ちにも切なるものがあろう。まだ庭に福寿草は出ないが、画用紙に、福寿草を描きたのしんでいるゆとりがいい。

老われにバレンタインのチョコたまふ
きつと、可愛いお孫さんのプレゼントかも知れない。目を細めて居られる修庭史さんのやさしい声も聞こえるようではほほえましい。

雪の原野兔を追ふ勢子のをり
かんじきの出番来たりし下ろしけり

宮 ヨキ
宮 ミヨ

村山むら女
雪雫より消え

鈴木良仙
雪雫は氷柱に

小宮山トキ
十七字に、その移り変わりがよく表現されている。

星野修庭史
きつと、可愛いお孫さんのプレゼントかも知れない。

短歌

公民館句会 (生涯学習センター)
老人クラブ俳句教室 (末広荘)
出句締切は午後1時

4月12日(日)
5月18日(月)

腰痛に春を恋ふ日のありにけり
雪晴れにはしやくリズムの軒雫
冬晴の飛行機雲の一直線
土もたげ水仙力みなざりし
たしかなる明治の筆の賀状かな
雪道の我が足跡のくつきりと
豆腐屋のらっぱの音に日脚伸ぶ
猫の来て戻りし跡や雪の上
受験子を見守る他は術のなく
星空をながめて今宵冴返る
日脚伸ぶ勤め帰りの立ち話
夜明け前除雪の音を床に聞き
雪荒れの一日は長し人恋し
立春の綿毛のやうな小雪降る
枝先の水滴ひかり春めける
春立つといふ日の朝の雪を掻く
庭木の雪そつと落ちて天仰ぐ
小窓よりのぞく夜明けの雪化粧
会を終へ急ぐ家路の寒の月
細き枝残さず花に今朝の雪
借りし書に挟める雪の見舞状
此処に又追催の豆の掃き残り

渡辺裕一
星野ちい
星野智恵子
星野七郎
星野紗都女
小西シゲノ
山田 悦
山田 久子
山田 久子
山田 マス
渡辺よう子
渡辺登子一
喜多村キヨ
関 よし
三輪京子
藤田節子
丸山好枝
覚張次郎
喜多村吉千
小宮山ミチ
上村たつお
新宮山紫

雪礫ふるはず雷鳴とどろきて大寒の雪又猛り降る
水落 深
拍手ひびく
佐藤美智
賜りし命はぐくみ此の年も天神囃子の席に連なる
桜井ミエ
省エネを気にかげながら老二人暖房の部屋に罪の
森山みえ
如居る

おしらせ

川口町役場 ☎89-3111
 総務課 財政課
 企画商工課 町民課
 福祉保健課 建設課
 農林課 (農委委員)
 企業課 下水道課
 収入役室
 教育委員会(特別養育院・生保課)
 キャンパス川口 ☎89-4171
 (家族旅行村振興課)
 キャンパス川口東 ☎89-4511
 むくもり荘 ☎89-3117
 せせらぎセンター ☎89-3974
 生涯学習センター ☎89-3120
 図書館 ☎89-4030
 勤労福祉センター ☎89-2760

求人受理説明会のお知らせ

来春の新卒求人申込み予定の事業所を対象とする求人受理説明会を次のとおり開催します。

△小千谷地区▽
 日時 4月16日(休) 13時30分～15時
 (受付は13時から)

会場 小千谷市総合福祉センター(サンラックおぢや)

※詳しくはハローワーク(職業安定所)学卒係まで

お手玉の会

代表 内藤フミ子 ☎89-3107

お手玉は、ボケ防止やリハビリにとっても効果があります。お手玉を楽しんだり、お手玉作りに参加してみませんか。

日時及び会場
 △4月3日(金) 13時30分～15時 生涯学習センター
 △4月6日(月) 14時20分～15時 むくもり荘
 △4月28日(火) 13時30分～15時 生涯学習センター

対象 子供からお年寄りまで
 問い合わせ先
 お手玉の会 代表 内藤フミ子

克雪住宅建設 支援します

建設課
 克雪住宅普及促進事業等の申込みを受け付けています。希望する方は、早めに建設課にご相談ください。

◎克雪住宅普及促進事業

助します。克雪住宅の建設費の一部を補助します。

対象住宅 耐雪式、融雪式又は落雪式住宅

対象者 次の要件のいずれにも該当する人

▽町内に住所を有するか、建築後当該住宅に居住する見込みの人

▽町税等を完納している人
 補助金額 住宅の克雪化に必要な工事費の17・6% (限度額は44万円)

◎克雪住宅資金貸付事業
 貸付金額 住宅の克雪化に必要な

春の火災予防運動

小千谷地域消防本部

これから雪解けとともに、山菜採りや野焼きの季節となり、火災の発生しやすい時期ともなります。みんなで火の元に注意しましょう。
 期間 4月1日(休)～4月7日(火)
 △火の用心7つのポイント▽
 ・家のまわりに燃えやすい物を置かない
 ・寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
 ・天ぷらを揚げるときは、その

場を離れない
 ・風の強いときは、たき火をしない
 ・子供には、マッチやライターで遊ばせない
 ・電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
 ・ストーブには、燃えやすい物を近づけない。
 ・期間中防火ビデオテープの貸し出し、防火指導、消火器訓練などを行います。
 希望する際は、事



川口中2年(当時) 内山智香子さんの作品

参加料

▽A、B、Cコース
 大人 1,500円
 小中学生 1,000円
 未就学児 500円
 △ファミリーコース
 大人 1,000円
 中学生以下 500円

※当日参加は500円増し

申込期限 4月15日まで (当日受付もできます)

※申込方法など詳しくは、実行委員会まで

信濃川河津段丘ウォーク 実行委員会

☎83-0077

期日 4月29日(みどりの日)

※雨天決行です。

コース及び出発場所、出発時間

▽A (50km) 津南町、6時30分

▽B (42km) 中里村、7時

▽C (25km) 川西町、10時

▽ファミリー(12km)

小千谷市、10時

※ゴールは小千谷市サンプラザ

参加資格 年齢、性別は問わず健康な人

新規社会教育関係団体等登録申請について

教育委員会生涯学習課

生涯学習をより一層推進し、社会教育関係団体や体育協会加盟団体等の活動を支援するため、町公民館(生涯学習センター)や学校体育館などの施設使用料を減額しています。

平成10年度から新規登録を希望する団体は、次により申請してください。

■対象 町内で活動する新規の芸術、文化、スポーツなどの団体(但し、現在文化芸術協議会等や体育協会加盟団体は申請の必要ありません。)

絵手紙の集い

代表 星野晃男 ☎89-2117

親しい人に絵手紙を送ってみませんか。誰でも簡単に描くことができます。

期日 4月8日(休)、21日(火)

以後毎月第2水曜日と第4火曜日(祝日の場合は変更します)

時間 19時30分～21時30分

場所 生涯学習センター

参加費 はがき、切手、会場費など若干の実費負担があります。

※絵手紙用の青墨、顔彩、絵筆輪郭線用の小筆などは斡旋します。



給水装置工事には町の指定が必要です

水道法の改正により、4月1日から水道指定工事店の指定要件が全国統一の国家資格(給水装置主任技術者)制度に変わります。

これにより、この資格を持つ技術者がいるなどの一定の要件を備えた工事業者は、全ての市町村で指定を受け、住宅や事業所等の新築、増改築等による水道工事ができることになりました。

これに伴い、今後町外業者に工事を施工させる場合に、その業者が町の指定を受けているかを企業課で必ず確認してください。

主な指定要件

- ①事業所に給水装置主任技術者(国家資格)が1人以上いること。
- ②法令に定める機械器具を所有していること。
- ③一定の欠格事項に該当していないこと。

工事の発注に当たっては、次のことに注意してください

資格のない工事店が工事を施工した場合、給水を拒否するか又は停止する場合があります。

問い合わせ先

企業課 ☎89-3111 (内線161～162)

連絡先 星野晃男(川口4)又は星野絹代(川口5) ☎89-2583)まで

長岡短期大学公開講座 ウーマンカレッジ

☎39-1903

「機能不全でない家族とは？」の方向を探り、役割分業親にとらわれないで家族の新たな感情や親子感や家族感を考えてみます。

期間 5月13日～6月24日 (毎週水曜日・全7回)

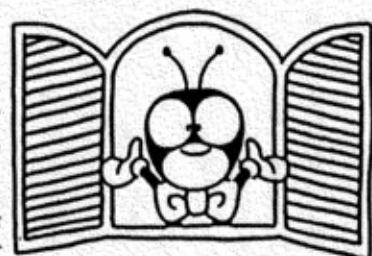
国民年金には保険料の免除制度があります

国民年金に加入されている皆さんは、毎月役場から送られる納付書などにより保険料を納めていただいています。

ところが、経済的な理由で保険料の納付が困難なときがあります。こんなときは申請により保険料の納付が免除される「申請免除」の制度があります。

「免除申請」をしないで保険料を未納のままにしていると、将来、年金を受けられなくなる場合がありますので注意してください。

将来、老齢基礎年金を受けるとき、免除を受けた期間の金額は3分の1になります。ただし、10年以内であればさかのぼって納めることができ、年金の減額は



なくなりません。ゆとりができたときは、追納しましょう。免除については手続きや相談は、早めに役場国民年金係にお尋ねください。

老齢福祉年金 受給者の皆さんへ

4月期の支払開始日は、4月10日です。

また、4月は国民年金証書提出月です。郵便局で年金を受け取りましたら、年金証書を役場国民年金係へ提出してください。